

SAPPORO

2026年度第4回 定例市長記者会見

令和8年6月8日（月曜日）

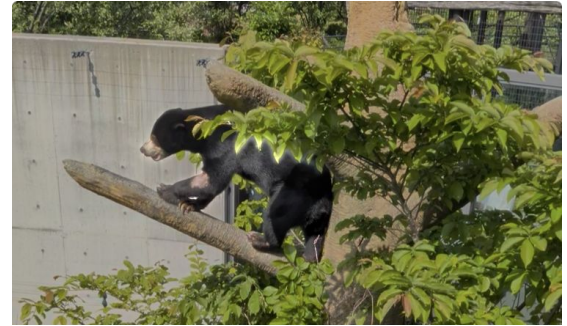
札幌市

円山動物園の今後の見どころと 官民連携の取り組みについて①

■動物の生き生きとした姿を引き出す飼育・展示

- マレーグマの屋外展示

屋内で飼育していたマレーグマの屋外展示を開始



- ライオン2頭の同居に向けて
別々に飼育していたライオンの
オスとメスの同居訓練を開始
※一般公開時期は未定

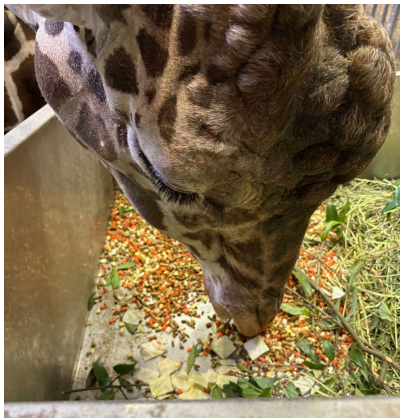


円山動物園の今後の見どころと 官民連携の取り組みについて②

■持続可能な動物園運営に向けた官民連携

- ・ **企業からの規格外の野菜や果物の寄付の受け入れ など**

餌代・フードロスの削減



●円山動物園の今後の見どころと官民連携の取り組みについて

円山動物園では、動物たちの生き生きとした姿を引き出すための飼育・展示に取り組んでいます。

また、良好な動物福祉の確保と持続可能な動物園運営を両立するため、市民・企業の皆さまとの連携によるクラウドファンディングや餌の寄付の受け入れ拡大も進めています。

円山動物園の魅力を多くの市民・企業の皆さまに知っていただくとともに、自然と人が共生する持続可能な社会の実現を目指してまいります。

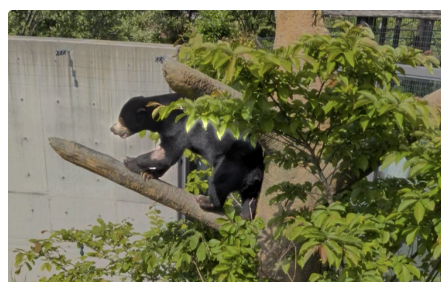
1 動物の生き生きとした姿を引き出す飼育・展示

(1) マレーグマの屋外展示

動物福祉の向上を図るとともに、来園者にのびのびと過ごす姿をご観覧いただくため、これまで屋内で飼育していたマレーグマの屋外展示を始める。

・時期：6月中

・飼育動物：小熊妹（シャオ ション メイ・メス）18歳
熊覇（ション バー・オス）18歳



(2) ライオンの同居訓練

ライオンのオスへの繁殖制限処置が完了したことから、群れで過ごす本来の姿に近づけ、良好な動物福祉を確保するため、これまで別々に飼育・展示していたオス（パーチェ）とメス（イト）を同じ空間で過ごさせる「同居訓練」を開始。

・時期：6月下旬から7月上旬を予定（※個体同士の相性を見極めながら進めるため、一般公開時期は未定）

・飼育動物：パーチェ（オス）3歳、イト（メス）3歳



2 持続可能な動物園運営に向けた企業との連携

流通段階において、品質には問題がないものの、店頭に並ぶことなく廃棄されてしまう規格外の野菜や果物を、動物たちの餌として企業から寄付していただく取り組み。

<企業・法人からの寄附概要(令和7年度分) 寄付相当額計 6,365,402円>

寄付者	寄付物品	寄付数量	寄付相当額
(株)スノウプル札幌	リンゴ	6,245kg	3,498,855円
	ミカン	1,561kg	780,500円
ANAフーズ(株)	バナナ	2,470kg	700,890円
コストコホールセールジャパン(株)	野菜・果物・冷凍鶏	1,645kg	600,957円
(株)ラルズ	キャベツ	1,150kg	90,850円
JAグループ	ニンジン	1,400kg	189,000円
	カボチャ	800kg	120,000円
大塚農場	ニンジン	1,470kg	264,350円
野村ファーム北海道(株)	サツマイモ	600kg	120,000円

【問い合わせ先】

円山動物園保全・教育推進課 佐竹、石田
電話：621-1426 ファクス：621-1428